

登山関連週刊ニュース（2026年4月1日～4月7日）

登山者の皆様へ

2026年4月1日から4月7日までの期間に発表された登山関連ニュースの中から、登山活動に影響を及ぼす可能性のある情報を重要度の高い順にまとめました。特に、入山規制や危険箇所に関する情報は最優先でご確認ください。

登山関連ニュースサマリー

重要度	項目	内容・影響
最優先	山岳遭難	富士山（閉山中）：4月6日にポーランド国籍の男性が滑落し救助された後、4月7日には30代の日本人男性が滑落し遭難していることが判明しました。閉山中の登山は非常に危険であり、厳に慎むべきです。
最優先	山岳遭難	八ヶ岳：3月31日から4月1日にかけて、46歳男性が下山中に体調を崩し死亡する事故が発生しました。自身の体調管理と無理のない登山計画の重要性が改めて示されています。
最優先	入山規制・火口周辺規制	桜島：噴火警戒レベル3（入山規制）が継続しており、火口周辺への立ち入りは厳しく制限されています。
最優先	入山規制・火口周辺規制	西之島、硫黄島：それぞれ「入山危険」「火口周辺危険」が継続中です。これらの地域への接近は非常に危険です。
最優先	登山道規制	知床・羅臼岳：2025年のヒグマ事故の影響により登山道閉鎖が継続しており、再開は2026年内の見込みです。
最優先	気象（雪崩）	雪崩注意報：4月7日時点でも北海道、東北、北陸などで「なだれ注意報」が継続して発表されています。春の融雪期は雪崩のリスクが高まるため、厳重な警戒が必要です。

重要度	項目	内容・影響
高優先度	火口周辺規制	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、雌阿寒岳、岩手山、霧島山（新燃岳）：いずれも噴火警戒レベル2（火口周辺規制）が継続中です。火口周辺への立ち入りは規制されており、火山活動に注意が必要です。
高優先度	クマ出没注意報	青森県：4月1日から県内全域に「ツキノワグマ出没注意報」が発表されました。これは過去最速の発表であり、直近10日間で5件以上の出没が報告されています。登山時はクマ対策を徹底してください。
高優先度	クマ出没	各地：冬眠明けのクマの目撃情報が相次いでおり、環境省などが注意を呼びかけています。クマとの遭遇に備え、十分な対策を講じてください。
中優先度	山岳遭難（捜索中）	京都府南丹市：3月から行方不明となっていた小学5年生の男児について、4月7日に自宅近くの山中で大規模捜索が実施されました。登山計画の提出や単独行動の回避など、安全対策の徹底が求められます。
中優先度	登山道規制	富士山：2026年度の開山期間における登山規制（通行料2000円、1日の登山者数上限4000人など）が改めて注目されています。詳細は山梨県側の公式情報を確認してください。
低優先度	登山道規制解除	新潟県米山（大平コース）：令和8年（2026年）4月1日に交通規制が解除されました。

登山者へのアドバイス

- 最新情報の確認を徹底する**：出発前には必ず、気象庁の火山情報、各自治体や登山道の公式サイト、現地の気象情報など、信頼できる情報源から最新の情報を入手してください。
- 入山規制・登山道規制を厳守する**：噴火警戒レベルや登山道規制が発表されている地域には、いかなる理由があっても立ち入らないでください。命に関わる危険があります。
- クマ対策を万全にする**：クマの活動が活発化する時期です。鈴やラジオなどで音を出し、食料の管理を徹底し、単独行動を避けるなど、十分なクマ対策を行ってください。万が一遭遇した際の対処法も確認しておきましょう。

- 4 **体調管理と無理のない計画:** 登山中の体調不良は重大な事故につながります。自身の体力や経験に見合った無理のない計画を立て、体調が優れない場合は勇気を持って中止する判断も重要です。
- 5 **雪崩への警戒を怠らない:** 残雪期は雪崩のリスクが非常に高まります。雪崩の兆候（亀裂、雪のひび割れ、雪崩の音など）に注意し、危険な斜面には絶対に近づかないでください。ビーコン、プローブ、ショベルなどの雪崩対策装備の携行と、その使用方法の習熟も必須です。
- 6 **登山計画書の提出:** 万が一の事故に備え、必ず登山計画書を提出しましょう。家族や友人にも行き先と帰宅予定を伝え、緊急連絡先を共有しておくことが大切です。

安全な登山のために、これらの情報とアドバイスを参考に、十分な準備と注意を払って行動してください。